



## 平成 21 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 20 年 7 月 11 日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

(コード番号: 7608 東証・大証各第 1 部)

(URL <http://www.sk-japan.co.jp>)

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 久保 敏志

問合せ先 責任者役職・氏名 取締役管理部長 川上 優

TEL: (06) 6765 - 0670

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 21 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 5 月 31 日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第1四半期	2,502	△35.1	△27	—	△30	—	△40	—
20年2月期第1四半期	3,858	△4.6	156	5.5	153	0.5	30	△61.7
(参考)20年2月期	14,730	—	155	—	148	—	△489	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第1四半期	△4	95	—	—
20年2月期第1四半期	3	66	3	66
(参考)20年2月期	△58	94	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年2月期第1四半期	4,823	2,457	50.7	297 42
20年2月期第1四半期	6,079	3,154	51.8	377 67
(参考)20年2月期	4,590	2,545	55.2	308 28

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年2月期第1四半期	141	△19	161	1,236
20年2月期第1四半期	385	△39	174	1,073
(参考)20年2月期	626	△15	△200	958

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
20年2月期(実績)	6 00	6 00	12 00
21年2月期(予想)	6 00	6 00	12 00

3. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想 (平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	5,800	△21.9	112	△26.3	111	△29.3	22	—	2	69
通期	12,000	△18.5	327	109.9	325	118.4	130	—	15	64

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 (注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の状況は、卸売事業・小売事業ともに低迷したことにより、売上高は 2,502 百万円（前年同期比 35.1%減）、経常損失は 30 百万円（前第 1 四半期は 153 百万円の経常利益）、四半期純損失は 40 百万円（前第 1 四半期は 30 百万円の四半期純利益）となりました。

(1) 卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門では、家庭用ゲーム機の好調やガソリン価格の高騰で客足が遠退いたこと等の要因により、大手アミューズメント施設の既存店売上高が前年比で 2 桁台の落ち込みとなるケースも珍しくないなど、大半の企業が苦戦を強いられることとなりました。このような状況の中、当部門ではチェーン展開しているオペレーターへの営業を強化し、商品面ではフジテレビの人気バラエティ番組のキャラクターである「ジャンク SPORTS 浜田大明神」等の新キャラクターがヒットしましたが、全体を押し上げるまでには至りませんでした。これらの要因により売上高は 1,117 百万円（前年同期比 35.6%減）となりました。

SP 部門では、外食チェーン店のキャンペーン用景品や出版会社向けの OEM 等が決まり、売上高は 376 百万円（前年同期比 27.5%増）となりました。

物販業界向け販売部門では、チェーン店向けのぬいぐるみ等の企画商品や生活雑貨が好調であり、バラエティ雑貨が 359 百万円（前年同期比 18.5%増）と大幅に増加しましたが、既存キャラクターの不振が大きく影響した携帯電話関連グッズが 103 百万円（前年同期比 21.8%減）と大きく落ち込み、売上高は 525 百万円（前年同期比 0.1%減）となりました。

以上の結果により、売上高は 2,019 百万円（前年同期比 21.0%減）、営業利益は 15 百万円（前年同期比 91.5%減）となりました。

(2) 小売事業

小売事業では、新しいコンセプトを若い女性をターゲットとしたおしゃれな雑貨店と定め、取扱商品の見直しを進めながらマーチャンダイジング改革を推進しました。同時に、既存店舗の改革を順次進めましたが、収支のバランスがとれず営業損失を計上する結果となりました。また、家電商品販売からの撤退、高額インポート商品の縮小とそれに伴う店舗撤退、加えてそれをカバーする新店舗の出店ができていないことから、売上高も大幅に減少しました。

以上の結果により、売上高は 483 百万円（前年同期比 62.9%減）、営業損失は 42 百万円（前第 1 四半期は 19 百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より 278 百万円増加し、1,236 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、141 百万円となりました。

これは主に、棚卸資産の増加額が 100 百万円及び法人税等の支払額が 87 百万円あったこと等により一部相殺されたものの、仕入債務の増加額が 321 百万円及び保証金の減少額が 215 百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、19 百万円となりました。

これは主に、保険解約による返戻金収入が 5 百万円あったこと等により一部相殺されたものの、保険積立による支出が 17 百万円及び投資有価証券の取得による支出が 5 百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、161 百万円となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出が 90 百万円あったこと等により一部相殺されたものの、短期借入れによる収入が 260 百万円あったことを反映したものであります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
税金費用の計上基準について、一部簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更  
該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前年同四半期末 〔平成20年2月期〕 第1四半期末	当四半期末 〔平成21年2月期〕 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成20年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>				%	
現金及び預金	1,073,828	1,236,925			958,462
受取手形及び売掛金	1,622,810	1,262,794			1,193,613
棚卸資産	1,243,355	727,930			626,987
繰延税金資産	118,260	66,167			52,828
その他	201,256	72,782			392,827
流動資産合計	4,259,512	3,366,599	△892,912	△21.0	3,224,719
<b>II 固定資産</b>					
有形固定資産	614,676	487,896			490,875
無形固定資産	8,002	5,052			5,160
投資有価証券	193,360	182,115			188,452
保証金	474,265	281,158			188,749
保険積立金	349,625	331,211			316,799
繰延税金資産	175,478	163,972			170,820
その他	4,406	5,019			4,763
固定資産合計	1,819,816	1,456,427	△363,388	△20.0	1,365,621
資産合計	6,079,328	4,823,027	△1,256,301	△20.7	4,590,341
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
買掛金	1,771,060	1,348,020			1,026,677
短期借入金	530,000	472,000			302,000
未払金	148,562	155,644			221,882
未払費用	61,410	54,779			132,095
未払法人税等	83,816	19,284			91,181
賞与引当金	121,604	99,549			54,624
その他	112,881	91,844			88,485
流動負債合計	2,829,336	2,241,122	△588,213	△20.8	1,916,948
<b>II 固定負債</b>					
退職給付引当金	70,289	86,037			89,631
預り保証金	25,220	220			220
リース資産減損勘定	—	38,414			38,414
固定負債合計	95,509	124,672	29,162	30.5	128,265
負債合計	2,924,846	2,365,794	△559,051	△19.1	2,045,213
<b>(純資産の部)</b>					
純資産合計	3,154,482	2,457,232	△697,250	△22.1	2,545,127
負債、純資産合計	6,079,328	4,823,027	△1,256,301	△20.7	4,590,341

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 〔平成20年2月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成21年2月期〕 第1四半期	増 減		(参考)前期 (平成20年2月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	3,858,387	2,502,417	△1,355,970	△35.1	14,730,833
<b>II 売上原価</b>	2,895,146	1,864,129	△1,031,016	△35.6	11,116,044
売上総利益	963,241	638,287	△324,953	△33.7	3,614,788
<b>III 販売費及び 一般管理費</b>	806,701	665,513	△141,188	△17.5	3,458,922
営業利益	156,539	△27,225	△183,764	—	155,866
<b>IV 営業外収益</b>	5,672	14,140	8,468	149.3	42,151
<b>V 営業外費用</b>	8,787	17,500	8,713	99.2	49,199
経常利益	153,423	△30,585	△184,009	—	148,819
<b>VI 特別利益</b>	—	—	—	—	42,724
<b>VII 特別損失</b>	91,142	24	△91,118	△99.9	432,686
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (△純損失)	62,281	△30,610	△92,891	—	△241,142
税金費用	31,756	10,079	△21,677	△68.3	248,712
四半期(当期) 純利益 (△純損失)	30,524	△40,689	△71,213	—	△489,855

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期	(参考) 前期
	〔平成 21 年 2 月期〕 第 1 四半期	(平成 20 年 2 月期)
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期（当期）純利益	△30,610	△241,142
減価償却費	4,126	53,238
減損損失	—	2,516
事業構造再編損失	—	337,022
賞与引当金の増加額・減少額（△）	44,924	△10,160
貸倒引当金の増加額・減少額（△）	6,264	3,278
ポイント割引引当金の増加額・減少額（△）	—	△14,280
退職給付引当金の増加額・減少額（△）	△3,593	18,576
保証金の減少額・増加額（△）	215,330	9,998
受取利息及び受取配当金	△2,880	△6,010
支払利息	1,284	5,857
投資有価証券評価損	—	124,304
保険解約益	△2,152	△16,601
保険満期返戻金	—	△38,266
売上債権の減少額・増加額（△）	△73,335	227,089
棚卸資産の減少額・増加額（△）	△100,942	466,606
仕入債務の増加額・減少額（△）	321,343	△22,134
未払金の増加額・減少額（△）	△65,695	63,509
その他	△87,269	△106,782
小計	226,794	856,619
利息及び配当金の受取額	2,880	6,010
利息の支払額	△1,284	△5,714
法人税等の支払額	△87,256	△314,572
法人税等の還付額	—	83,789
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,133	626,132
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,486	△47,731
保険積立による支出	△17,884	△36,724
保険解約による返戻金収入	5,339	35,581
保険満期による返戻金収入	—	70,133
有形固定資産の取得による支出	△1,751	△37,748
その他	120	1,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,662	△15,296
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	260,000	2,005,000
短期借入金の返済による支出	△90,000	△2,055,000
株式の発行による収入	—	8,998
自己株式の取得による支出	△47	△41,817
配当金の支払額	△8,272	△117,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	161,680	△200,166
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,688	△5,377
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額（△）	278,462	405,291
VI 現金及び現金同等物の期首残高	958,462	553,170
VII 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	1,236,925	958,462

(注) 前第 3 四半期より (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書を記載しておりますので、前第 1 四半期の金額は記載しておりません。

## 5. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期)

(単位：千円)

	卸売事業	小売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,555,591	1,302,796	3,858,387	—	3,858,387
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,225	6	26,232	△26,232	—
計	2,581,817	1,302,803	3,884,620	△26,232	3,858,387
営業費用	2,404,879	1,322,466	3,727,345	△25,497	3,701,848
営業利益	176,937	△19,663	157,274	△734	156,539

当四半期 (平成 21 年 2 月期 第 1 四半期)

(単位：千円)

	卸売事業	小売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,019,345	483,072	2,502,417	—	2,502,417
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,266	—	7,266	△7,266	—
計	2,026,611	483,072	2,509,683	△7,266	2,502,417
営業費用	2,011,510	525,592	2,537,102	△7,459	2,529,642
営業利益	15,100	△42,519	△27,419	193	△27,225

(参考) 前期 (平成 20 年 2 月期)

(単位：千円)

	卸売事業	小売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,494,585	5,236,247	14,730,833	—	14,730,833
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	79,827	383	80,211	△80,211	—
計	9,574,413	5,236,630	14,811,044	△80,211	14,730,833
営業費用	9,155,363	5,501,624	14,656,987	△82,020	14,574,966
営業利益	419,050	△264,993	154,057	1,809	155,866

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設・物販専門店・量販店等への卸販売、企業向け販売促進商品等の企画販売および電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック、家電商品等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

当四半期連結会計期間（自 平成 20 年 3 月 1 日 至 平成 20 年 5 月 31 日）、前四半期連結会計期間（自 平成 19 年 3 月 1 日 至 平成 19 年 5 月 31 日）及び前連結会計年度（自 平成 19 年 3 月 1 日 至 平成 20 年 2 月 29 日）のいずれも、当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当四半期連結会計期間（自 平成 20 年 3 月 1 日 至 平成 20 年 5 月 31 日）、前四半期連結会計期間（自 平成 19 年 3 月 1 日 至 平成 19 年 5 月 31 日）及び前連結会計年度（自 平成 19 年 3 月 1 日 至 平成 20 年 2 月 29 日）のいずれも、海外売上高がないため、該当事項はありません。